

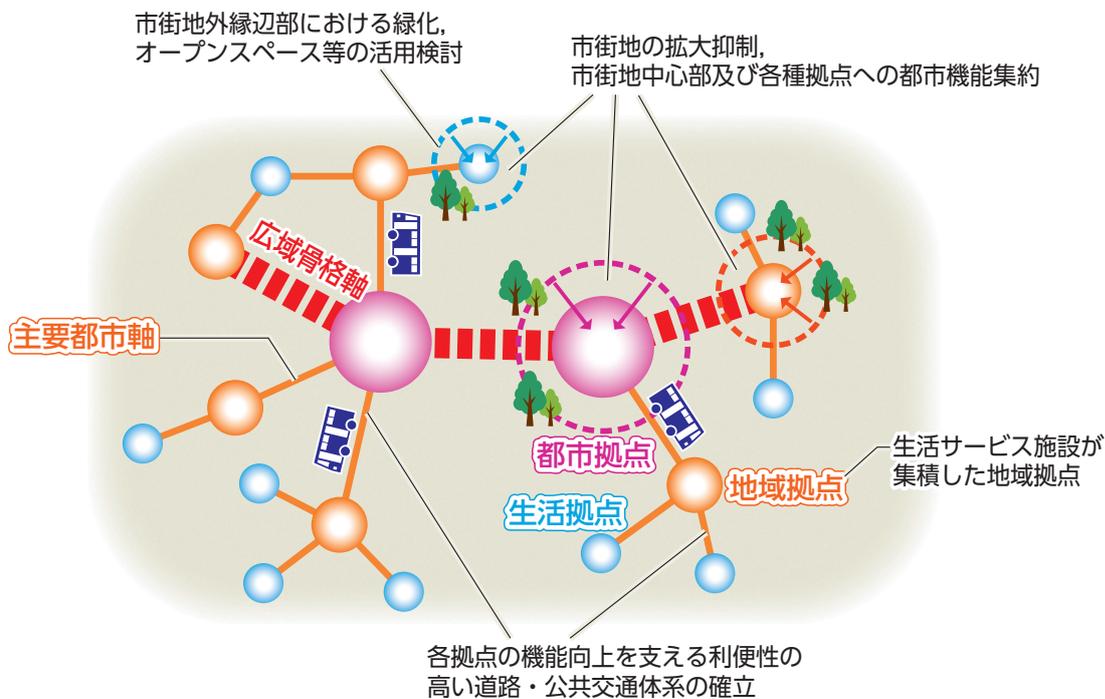
## 1 基本的な考え方

人口減少下においても、まちを持続させていくため、市内各所にいくつかの拠点  
を設け、それらの拠点にその地域の実情に応じた機能の集約を図りながら、拠点間  
を結ぶネットワークを整備します。これにより、それぞれが持つ機能を補完・連携  
させる「コンパクト+ネットワーク※2」の都市構造を構築し、地域がつながり、に  
ぎわい、住み続けられる、コンパクトで持続可能なまちを目指していきます。

## 2 基本方針

内陸部・沿岸部・島しょ部の多様な地理的条件の下で、誰もが便利で快適に暮ら  
せるまちを実現するため、広域サービスを提供する行政施設、高次医療施設等の都  
市機能が集約された都市拠点と、まちの規模に応じた商業や医療・福祉等の生活  
サービス施設が集積した地域拠点や生活拠点を形成します。これらの各拠点間が道  
路・公共交通・情報通信などで連結された「コンパクト+ネットワーク」による都  
市構造を構築します。

図 2-1 コンパクト+ネットワークを基本とする都市構造の概念図



なお、より具体的な方針等については、呉市都市計画マスタープランにおいて示します。

※ 2 コンパクト+ネットワーク：地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、誰もが安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携してコンパクトなまちづくりを進める取組